



## 行動経済学会ポスター報告奨励賞

(2024年12月6～8日開催 第18回大会)

行動経済学会では2010年大会より、行動経済学研究の発展と若手研究者の育成・顕彰を目的として「行動経済学会奨励賞」を設け、さらに2017年大会より、ポスター報告も対象として「行動経済学会ポスター報告奨励賞（一般部門）」と「行動経済学会ポスター報告奨励賞（学部生部門）」を設けました。

一般部門11件と、学部生部門30件を厳正に審査した結果、今回は以下の通り、一般部門は、飯沼 卓也（横浜市立大学、三井住友トラスト・アセットマネジメント）、高橋 淳（横浜市立大学）、鈴木 恭平（大阪大学大学院）、学部生部門は、中山 慶人（大阪経済大学）、大野 陽輝（東京経済大学）、須藤 健斗（公立はこだて未来大学）、中尾 飛奈太（同志社大学）、繁畑 涼良（同志社大学）に決定しましたので、ご報告申し上げます。

学部生部門の授賞式は第18回大会で執り行われました。

なお、一般部門の授賞式は次期大会で執り行う予定です。



### 【行動経済学会ポスター報告奨励賞（一般部門）受賞者】

受賞者：飯沼 卓也（横浜市立大学，  
三井住友トラスト・アセットマネジメント）

報告論文：Monetary Policy Communication and Social Identity:  
Evidence from a Randomized Control Trial

共著者：中園 善行，丹後 健人（横浜市立大学）

受賞者：高橋 淳（横浜市立大学）

報告論文：Rational Inattention and the Effects of Complex Tax  
Incentives on Labor Supply

受賞者：鈴木 恭平（大阪大学大学院）

報告論文：道徳的介入がルールの逸脱に与える影響：  
大学図書館におけるランダム化比較試験

共著者：佐々木 周作，大竹 文雄（大阪大学）



## 【行動経済学会ポスター報告奨励賞（学部生部門）受賞者】

受賞者：中山 慶人（大阪経済大学）

報告論文：不正はなぜ起こるのか

共著者：岡島 成治，二本杉 剛（大阪経済大学）

受賞者：大野 陽輝（東京経済大学）

報告論文：時間外労働の上限規制が与えた幸福度への影響

受賞者：須藤 健斗（公立はこだて未来大学）

報告論文：ボランティア・ジレンマの解消法：理論と実験

共著者：秋元 一心，川越 敏司（公立はこだて未来大学）

受賞者：中尾 飛奈太（同志社大学）

報告論文：状況変化に伴う同調行動の変容について

共著者：仁木 脩介，藤本 桜江，小泉 陽奈子，藤原 なな（同志社大学）

受賞者：繁畑 涼良（同志社大学）

報告論文：金融リテラシーの高低は、ロボアドバイザーの活用に  
影響を与えるか？：実験的検証

共著者：中津畑 航，福井 璃子，召田 積技（同志社大学）